

平成27年度新規採択 29件

	研究種目	研究代表者 所属・職・氏名	研究課題名
1	基盤研究(B)	総合教育学群外国語教育室 准教授・河内 一博	談話データを使ったシダーマ語とクプサビニ語 の情報構造の研究
2	基盤研究(C)	総合教育学群数学教育室 教授・知念 直紹	群が作用するCAT(0)空間のBorel予想と Novikov予想に関連する研究
3	基盤研究(C)	総合教育学群数学教育室 准教授・水川 裕司	リー型の組合せ論と有限群上の調和解析
4	基盤研究(C)	総合教育学群数学教育室 准教授・河本 裕介	ベキ写像の高位ホモトピー結合構造の解析を 通じたループ空間のホモトピー論的研究
5	基盤研究(C)	総合教育学群数学教育室 講師・藤村 雅代	数式処理的手法による有理関数の複素力学的 性質の解析
6	基盤研究(C)	応用科学群応用物理学科 教授・松元 藤彦	超低周波アナログ信号処理回路のワンチップ集 積化のための大容量コンデンサ
7	基盤研究(C)	応用科学群応用物理学科 教授・高田 真志	福島復興へ向けた放射能汚染地区の木材内部 の放射能汚染分布の計測調査に関する研究
8	基盤研究(C)	応用科学群応用物理学科 講師・塚本 哲	衝撃波照射が細胞において生理応答を惹起す る物理メカニズムの解明
9	基盤研究(C)	応用科学群応用化学科 准教授・山田 弘	電気生理学的ライブセルイメージングシステム の構築
10	基盤研究(C)	応用科学群応用化学科 准教授・上北 尚正	足場非依存性を標的とした癌治療法開発の基 盤研究
11	基盤研究(C)	応用科学群地球海洋学科 教授・森 和義	海中周囲雑音による物体画像化における周波 数依存エコーの効果的な表現に関する研究
12	基盤研究(C)	電気情報学群電気電子工学科 教授・森下 久	人体方向の放射を抑制した多共振型ウェアラ ブルアンテナの研究
13	基盤研究(C)	電気情報学群通信工学科 准教授・後藤 啓次	滑らかな曲面を有する物体による散乱電磁界 の新たな近似解と実験による検証
14	基盤研究(C)	電気情報学群通信工学科 准教授・和田 篤	多光源波長掃引による高速分布型光ファイバセ ンサの研究
15	基盤研究(C)	電気情報学群情報工学科 教授・渡邊 宏太郎	定曲率空間における非線形楕円型方程式の解 構造の研究
16	基盤研究(C)	電気情報学群情報工学科 准教授・佐藤 浩	見えない構造を見るーオープンデータと機械学 習によるネットワーク構造推定ー
17	基盤研究(C)	電気情報学群情報工学科 講師・岩井 啓輔	アクセラレータを活用する暗号開発支援環境
18	基盤研究(C)	電気情報学群情報工学科 講師・伊達 央	流体のみにより動作・制御される自己推進柔軟 マニピュレータの3次元化

	研究種目	研究代表者 所属・職・氏名	研究課題名
19	基盤研究(C)	電気情報学群機能材料工学科 准教授・石井 啓介	微細構造制御によるハイパワー用非鉛圧電セラミックスの開発
20	基盤研究(C)	システム工学群機械工学科 准教授・吉富 健一郎	冷凍ピンチャックによる無反り薄型基板創成研 磨に関する研究
21	基盤研究(C)	システム工学群建設環境工学科 教授・別府 万寿博	竜巻飛散物・噴石に対する退避シェルター用防 護部材の開発
22	挑戦的萌芽研究	応用科学群応用化学学科 教授・市村 徹	細胞内異常蛋白質凝集体を効率よく分析できる プロテオミクス新手法の開発
23	若手研究(B)	総合教育学群外国語教育室 准教授・井上 亜依	フレイジオロジーに基づく現代英語の脱文法化 現象解明の記述的研究
24	若手研究(B)	応用科学群応用物理学科 講師・大淵 武史	音響デジタル計測によるリアルタイム音響イ メージングに関する研究
25	若手研究(B)	応用科学群応用化学学科 助教・林 正太郎	不均一系触媒を用いた位置選択的直接的ア リール化による π 共役系高分子合成
26	若手研究(B)	電気情報学群通信工学科 助教・上原 知幸	分子の位相感性を利用した小型光時計の開 発とマイクロ波フォトンクスへの応用
27	若手研究(B)	電気情報学群通信工学科 助教・中村 僚兵	複数アンテナを用いた超広帯域無線センサによ る屋内侵入者の位置推定技術の研究
28	若手研究(B)	電気情報学群情報工学科 助教・白川 智弘	真性粘菌変形体における認知的情報処理機構 の解明
29	若手研究(B)	システム工学群航空宇宙工学科 准教授・横山 信宏	飛行モードのオンライン推定を利用した有人お よび無人航空機の間隔確保システム

平成27年度追加採択 1件

	研究種目	研究代表者 所属・職・氏名	研究課題名
30	基盤研究(C)	システム工学群航空宇宙工学科 准教授・田中 宏明	振動付与による高精度展開アンテナ構造の形 状再現性の向上